

もう不治の病ではありません！

## 猫伝染性腹膜炎

## FIP とは？



FIPは比較的若齢(生後～2歳未満)の猫に多くみられるウイルス性疾患の一つです  
発症すると 数日から 数か月のうちに ほぼ100%死に至る病気とされ  
以前は感染・発症の詳細なメカニズムが解明されておらず  
不治の病とされ 効果を期待できる治療薬はありませんでした

しかし、近年 新薬の開発により 以前と比較しても格段に治療方法の選択肢が広がり  
国内外の治癒症例も増加しています 特に下記のような症状のケース、診察 ご相談ください

### PROBLEM

こんな症状も FIP の  
サインかもしれません

- 元気 食欲がない 以前より食事しなくなった
- 目の色が変わった
- 発熱がある 耳を触ると熱い
- 体重が減少した
- お腹がふくらむ
- 呼吸のペースがおかしい、苦しそう
- 口腔内が黄色っぽい 黄疸がある
- 下痢、嘔吐 の回数が多い

#### ● 症状による 主なタイプは2種類

ウェット (WET) 型	腹水・胸水	腹部、胸部の体腔に体液が蓄積	腹部膨満・呼吸困難
ドライ (DRY) 型	しこり (肉芽腫)	神経症状	眼科症状
	炎症を起こした病変が目、腎臓、肝臓、神経系など、体全体に見られる		

●治療方法・治療期間 目安 約84日間(12週間)の治療期間  
治療開始数日は入院治療、状態が良好であればご自宅にて治療が可能

●主な治療薬 レムデシビル GS441524 モルヌピラビル

抗ウイルス薬を導入し 早期の確定診断・治療開始が 出来る体制を整えています  
発熱や元気消失、食欲不振などがみられた場合は早めにご相談下さい